

2018年度 親鸞浄土教総合研究班 研究プロジェクト申請書

1. 真宗善本典籍研究プロジェクト

研究代表者	氏名	杉岡 孝紀	所属	農学部	
			職名	教授	
研究課題	日本語	『諸神本懐集』の研究			
	英語	A Study of "Shojinhongwaishu"			

研究目的／①長期的研究目標と、②短期的研究目標（申請研究期間）について、具体的に記入してください。特に②については、研究期間内に何をどこまで明らかにする予定なのかを1年目、2年目等と順次明記してください。

① 長期的研究目標

龍谷大学図書館所蔵の善本の内、真宗関連本について書誌学的・文献学的研究と思想的・教義学的研究を進めて貴重本の公開を目的とする。さらにかかる真宗の善本典籍の研究を基盤として、親鸞浄土教のもつ普遍的真実性を、領域を横断する形でもって総合的に解明していくことを目指す。

特に、本研究では本学大宮図書館所蔵の『諸神本懐集』（室町時代写本、二冊）の文献学的研究を進め、あわせて親鸞から存覚に至る真宗における神祇観の変遷を再検証し、日本仏教史上における親鸞浄土教の位置づけを思想的・教義的に明らかにしていくことを課題とする。

②短期的研究目標

・1年目

底本（大宮図書館蔵）の書誌学的調査を行い、研究会・ワークショップと講演会を開催して最新の研究成果の共有を図る。また底本と諸異本の調査・収集を行い、文献学的研究の基礎を確立する。

・2年目

諸異本の調査を継続し、底本の真宗聖教における位置づけを明確にする。あわせて、本書がもつ教義的課題を探究するために、外部より講師を招聘し講演会を開催して総合的な研究の進展を図る。

・3年目

善本叢書の刊行に向けて、底本の翻刻並びに校異作業を進める一方、研究員は各自の課題に沿って研究論文の執筆を行い、研究会及びワークショップにて研究成果を発表する。

研究計画・方法／2018年度の研究目的を達成する計画・方法（シンポジウム・講演会・ワークショップ・セミナー・研究会・調査出張等）を総論と各論に分けて、具体的に記入してください。

〔総論〕

【研究会】

年2回の研究会を開催

【ワークショップ】

年1回のワークショップを開催

【調査・出張】

(1) 底本の調査

(2) 諸異本の調査

- | | |
|---------------|--------------|
| ① 毫摂寺 兵庫県宝塚市 | ② 本福寺 滋賀県大津市 |
| ③ 大谷大学図書館 京都市 | ④ 光徳寺 富山県 |

【講演会】

1回 外部講師による講演会

〔各論〕

【研究会】

第1回 4月初旬：本年度の研究課題・目標・研究計画の確認、作業分担

第2回 12月中旬：研究員の研究発表と底本に関する調査の報告会

【ワークショップ】

第1回 10月上旬：「存覚の神祇観について」に関するワークショップ

【調査・出張】

①底本の調査 日時未定

大宮図書館所蔵本の調査、写真撮影、ならびに印刷（和綴じ本）

〈諸異本の調査・出張〉

② 日時未定 毫撰寺（兵庫県宝塚市）

室町時代末期写本 二冊（両巻末に「毫撰寺」（墨書）とあり）

③ 日時未定 本福寺（滋賀県大津市）

室町時代中期写本 一卷一冊、室町時代末期写本 一卷一冊（残闕本）

④ 日時未定 大谷大学図書館（京都市）

室町時代末期写本 一卷一冊、徳川時代初期 二巻二冊（恵空写伝本）

⑤ 日時未定 光徳寺（富山県）

室町時代中期 二巻二冊（本巻表紙に「存覚」と朱書あり）

【講演会】

2018年 7月下旬

「真宗の神祇観」をテーマとして、外部の講師を招いて学術講演会を開催

Barc グループ1ユニットAサブユニット「『教行信証』研究班」との開催を予定

2. 真宗学研究プロジェクト

研究代表者	氏名	那須 英勝 印	所属 文学部
			職名 教授
研究課題	日本語	龍谷大学図書館所蔵の真宗古文献の翻刻・研究	
	英語	Reproduction and Research on Old Manuscripts and Prints on Shin Buddhism Held in the Ryukoku University Library	

<p>研究目的／①長期的研究目標と、②短期的研究目標（申請研究期間）について、具体的に記入してください。特に②については、研究期間内に何をどこまで明らかにする予定なのかを1年目、2年目等と順次明記してください。</p>
<p>① 長期的研究目標</p> <p>龍谷大学図書館には、真宗関係の貴重な古文献が多数所蔵されており、それは他図書館に例を見ない本学図書館の特徴である。それらの古文献は、主に大宮西覺書庫、写字台文庫、新写字台文庫、龍谷蔵等にわたって収蔵・保管されているが、貴重なものであっても、いまだその資料的価値や思想内容に関する評価が、十分でないまま放置されている文献も少なくない。</p> <p>本研究プロジェクトは、それら龍谷大学図書館に所蔵される注目すべき未翻刻の真宗古文献を取り上げ、翻刻作業をおこない、そうした基礎的な文献研究を通してその内容を究明せんことを志すものであり、その作業を通して今後の真宗学研究の更なる進展に寄与することを目的とするものである。</p>
<p>② 短期的研究目標</p> <p>・ 1年目</p> <p>取り扱うテーマを設定した上で、そのテーマに関する注目すべき文献の選定をおこなうと共に、重要な対校本の蒐集につとめる。また、研究員相互の研鑽を目的とした真宗古文献に関する研究会を行う。（必要に応じ外部講師を招聘する）とともに、研究会を開催して広く意見交換を行う。</p>
<p>・ 2年目</p> <p>研究成果・資料の収集と整理、真宗古文献に関する研究会、研究会の開催を継続しつつ、研究対象とすべき文献のピックアップならびに個々の文献研究を進めていく。</p>
<p>・ 3年目</p> <p>最終年度として、個々の文献研究の継続とともに、研究会等の開催を通してその成果を共有し、さらに深めていく。その上で、研究発表ならびに論文執筆などにより、最終的な研究成果をまとめる。</p>

<p>研究計画・方法／2018年度の研究目的を達成する計画・方法（シンポジウム・講演会・ワークショップ・セミナー・研究会・調査出張等）を総論と各論に分けて、具体的に記入してください。</p> <p>〔総論〕</p> <p>龍谷大学図書館蔵の真宗古文献について、テーマを設定した上で、そのテーマに即した文献を取り上げて翻刻ならびに内容研究を行う。</p>
<p>〔各論〕</p> <p>これまで取り扱ってきた「小児往生」「対異教」というテーマについて、引き続き関連典籍の研究を進め、必要に応じて他のテーマの典籍も取り扱う。</p> <p>具体的には翻刻研究の経過報告と内容検討を主とした研究会を定期的で開催し、翻刻内容の確定作業を進めていく。また、対校本を広く収集する必要が認められる典籍については、対校本の収集作業も並行して遂行する。</p> <p>また、設定されたテーマに関する分野の講師を招聘し、研究会を開催して研究構成員の理解をより深いものとする。</p> <p>（7月：研究会、10月：ワークショップ、2月：研究会）</p>